

◆teku-teku2013★黄金町バザール 2013 企画(活動記録+評価結果)◆

企 画■アートのまちづくりを歩く(1)～黄金町バザール 2013 を訪ね、語り合う～

日 時■2013年10月27日(日) 13:00～16:30頃

コース■高架下かいだん広場<集合>～黄金町バザール作品ツアー(黄金町エリアマネジメントセンター～日の出スタジオ～小串スタジオ～1の1スタジオ～高架下サイトA～八番館～ハツネテラス～ミニギャラリー)～黄金スタジオ<休憩>～初音スタジオ～高架下サイトD～日の出スタジオ<解散>

参加者■◎井手幸人、大竹柊子、大竹 亮、村田英樹(以上4名、敬称略、◎コーディネーター)

企画主旨■

横浜市では、市内各地の衰退地区(都心業務地、港湾倉庫、旧商店街、風俗営業街、簡易宿泊施設街など)を再生するため、「芸術不動産」を大胆に導入しています。なかでも、初黄・日ノ出地区では違法風俗営業(いわゆる売春飲食店)を一掃するために、行政主導でアート空間(芸術家のアトリエ、ギャラリーなど)を集中的に投入しており、その成果が目立っています。毎年開催される黄金町バザールは、防犯まちづくり(まちの浄化)に多彩なアートを活用しているこの地区の公開イベントです。当日は、まち歩きツアーに参加し、アートを活かしたまちづくりの手ごたえと一緒に感じとり、まちの将来を考えてみましょう。

<参加者の意見・評価>

1◆黄金町のまちについて(全体)

評価：3.00 内訳：A B B C

評価A●アートが自然とまちに溶け込んでいる印象だった。

評価B●鉄道高架下、路地奥、川べりなどのニッチな空間が違法風俗街に転換していたのだろうが、小さな空間がたくさん並んでいるのはヒューマンスケールなので(高架下の新しい施設も含めて)、点在するアートと相まって不思議と居心地がいい雰囲気になっている。

評価B●かつて違法風俗営業街であったが、大岡川や鉄道などの交通の便もよく、おしゃれなお店も出てきて、徐々に健全な住商混在エリアに変化してきている。昔の賃貸アパートなども建て替わっていけば、かなり住みよい街になっていくことが期待できると思う。

評価C●なかなか建て替えも進んでいないようです。こうした地区には、黄金町バザール・アートツアーのようなイメージ戦略的なところからのアプローチが重要なんだろうね。

2◆黄金町バザール・アートツアーについて

評価：5.00 内訳：A A A A

評価A●国籍も分野も様々なアーティストの活躍の場となっており、講演会やまち歩きイベントもボランティアで開催するなどマネジメントにがんばっていると思う。

評価A●続けられていることはとても評価できます。少しずつではあるかもしれませんが、活動の輪が広がっているように思いました。

評価A●ツアーの形式が、分かりやすく親しみやすくて楽しいと思った。作品自体も、作家の個性がそれぞれ出た完成度の高いものが多いと感じた。

評価A●高架下の新しいスタジオもいいが、あちこちの小さな既存店舗をアートスペースに活用しているのが、街の探検ツアーのようで面白い。外観からは想像できないような内部空間に驚かされ、精神がリフレッシュする。



黄金町高架下かいだん広場からツアー出発



黄金町路地奥のミニギャラリーでツアー終結

3◆特に印象に残ったアートなど

白無垢の婚礼衣装の写真展★空家の中に展示された婚礼衣装の女性のいくつかのパネルがとても印象的。

元風俗営業店舗を改装したアート★狭い階段で2階に上がるギリギリの間取りが印象に残った。

臼田香織さんのZ A★狭い長屋の奥の部屋をのぞき込むと、張り子の女性が座っていて大変驚かされた。

かつての風俗嬢の魂が残っているように感じられて、背筋がぞくぞくとした。

路地に面する建物壁面をアートにした作品★本来の意味で街に働きかけている。

off-Nibroll★数字と人の映像に囲まれ、不思議な空間にいる感じがした。



路地に面する建物壁面をアートにした作品



京急高架下の複合施設・黄金スタジオ

4◆黄金町プロジェクトは、まちの浄化・再生という目的に対して、どのような効果をもたらしているか。

●違法風俗店を取り締まった後に再度入居しないように、行政が店を借り上げてアートスペースにしてしまうという試みはユニークで、それに住民やアーティストが協力しているのがすばらしい。ただし、行政がいつまでも関与するわけにはいかないので、どのように自律的に街を生まれ変わらせるか、正念場であろう。

●風俗営業街という暗いイメージを逆手に取って自由なアートの場とするのが、街を再生していく一つの手段であろうかと思う。奈良でも HANARART という空家の町家などを活用したアートイベントを数年前から開催しているが、うらびれた空家に自由なアートが息を吹き込むように感じられる。黄金町と同様な例として、大和郡山市にある木造3階建の元売春宿を市が購入したものの、市民の反対から公共施設として再利用ができない状態にあるが、アートの場としてはその強烈な場所の個性が生きてくる。

●まちの浄化・再生に即時的な効果があるとは思いませんが、地域のイメージを変えるという意味では効果的なプロジェクトだと思います。

●今回のイベントでは、街の再生・浄化が実現できていると感じた。しかし、現代アートの分かりにくさ、マイナー感ゆえに、黄金町に日常的に人を集め活性化していくまでにはつながらないかもしれない。

5 今後、黄金町はどんなまちになってほしいか。そのためには、どのようなまちづくりが必要か。

●小さな空間のスケール感とヒューマンな生活感があり、住民コミュニティがしっかりした街。そのためには、リノベーションにより小規模店舗（元違法風俗店）を有効活用するネットワークの仕掛けが必要。

●かつての名残をアートの残しながら特徴的なお店が立地する健全な住商混在エリアとして発展してほしい。

●黄金町特有の空気はアートと相性が良いと感じたので現代アートシーンを象徴する街の一つになってほしい。

●完全に地区の歴史を消し去るのではなく、その土地の持つ地霊的なものを感じさせつつ、若いクリエイター達が集える情報発信の拠点となるといいですね。

6 その他、今回の企画に対する感想など

●以前歩いた時にあった魅力的な建物が取り壊され、マンションに・・・きれいになるのはいいのですが、その土地ならではの魅力がなくなっているのが残念でした。(I・Y)

●関係者、ボランティアの方々の努力に敬服します。(M・H)

●アートとまちづくりの関係について考える良い機会になりました。楽しかったです。(O・S)

●「もうひとつの横浜」を知るいい休日でした。(O・R)



高架下サイトDのフリースペースにて